



広報編集委員が頑張っている人物やグループを紹介するページです

昭和40年代まで、まちの娯楽施設であった弁天座が、いつの間にか姿を消して数十年、「絵金蔵」建設とあいまって、弁天座を復活させた」との声があがってきました。住民に親しまれていた銭湯「旭湯」にたびたび集まっては、「旭湯のように、人々に親しまれる、弁天座の再建を！」と行政に働きかけ、ついに実現したのです。

みんなの協力で成り立つ「弁天座」

弁天座が開館して、早3カ月。現在、こけら落とし事業のイベントに大わらわという弁天座のパワフルなメンバーを紹介します。

熱意のある人たち

「弁天座運営委員会」は、土佐絵金歌舞伎伝承会」のメンバーを中心に構成されています。今まで、絵金歌舞伎



着付けをする横矢さん



幕引きをする伊藤郁子さん

江内さんもお手伝い



舞台をまわす伊藤景助さん



弁天座で販売中のオリジナル商品

を伝承していく活動の中でメンバーはたくさんの技術を身につけてきました。横矢代さんや江内千恵さんらもそのひとりで、毎回のイベントに「なんとかバタバタやりゆい」と言われます。しかし今後は、貸し館を運営するうえで野市や夜須の中央公民館にあるようなホールボランティアが必要

みんなので汗をかこう！



「三番叟」上演前の谷岡会長

弁天座の運営は、一年間通じて、いかにたくさんの人に貸し館として利用してもらえかが大きなポイントです。

住民の手で運営していただける施設として、地元赤岡町の谷岡信彦運営委員会会長

をはじめ約20人の委員さんと、運営ボランティアが市内外から約40人、他にはない、昔ながらの新しい施設に興味を持ち、弁天座とかわりたいたいという思いで集まりました。今後、組織が一丸となって意見やアイデアを気軽に出し合っていてほしいと思います。

いつか、全国的にも話題の人気の施設になることを夢見て…！

趣のある弁天座は飲食してもかまんぜよ

香南市内の大きなホール内は飲食厳禁ですが、弁天座は運営委員会の許可があれば、飲食可能なイベントもできます。ただし、飲酒は「おきやく」にならぬ程度に。また、施設の利用料も他の施設に比べ、安価で利用しやすくなっています。これこそ、みんなの寄り合い所「弁天座」といえるでしょう。

弁天座の問い合わせ

☎57-3060

編集後記

「タイム」の写真を撮ろうとして思い出しました。葉っぱに弾む雨の音。ポロンポロンと集まるとそこには銀色の水溜まり。タイムの大きな葉っぱを傘にして遊んだ記憶はありませんか？ 今回の取材メモには、長寿の皆さんからの贈り物、まだまだいっぱい詰まっています。(井)

金婚式に敬老会。香南市には、元気な方が大勢いるな」と感心しながら取材した後、祖母の顔が浮かんできました。今年で88歳の米寿2年前、突然の脳梗塞で今は杖をついての生活。その日は、家族みんなでお祝いしました。いつまでも元気でいてね。おばあちゃん(m)

香南市最高齢の安岡忠枝さんの取材では、わたしの母校の近くにあった商店を経営されていたこともあり、懐かしかったです。また、安岡さん思い出の「コーヒー」をごちそうになり、幸せをおすそ分けしていただいた気分になりました。(N)

《広報へのメール》
kouhou@city.kochi-konan.lg.jp
《香南市のホームページ》
http://www.city.kochi-konan.lg.jp